

## 旅行取扱状況の概観（平成28年5月分）

下記、月次取扱額は、近畿日本ツーリスト(KNT)とKNT個人旅行、クラブツーリズム、KNT北海道、KNT東北、KNT中国四国、KNT九州、ユナイテッドツアーズ、KNT商事の合算額となります。

## 記

海外旅行の取り扱い、一般団体は前年比93.7%、学生団体は同174.7%と大きく上回り、団体旅行合計で同101.4%と前年を上回った。企画旅行については前年比85.3%と前年を下回り、個人旅行については同85.3%と前年を下回った。

この結果、海外旅行総取扱額としては、前年比88.2%と前年を下回った。

国内旅行の取り扱い、一般団体は前年比93.3%、学生団体は同89.2%と前年を下回った。その結果、団体旅行合計で同90.4%と前年下回った。企画旅行については前年比80.4%、個人旅行については同94.0%と前年を下回った。

この結果、国内旅行総取扱額としては、85.4%と前年を下回った。

外国人旅行は、前年比128.1%と前年を大きく上回った。

以上の結果、ホールディングス主要会社の5月の総取扱額は前年比87.3%となり、前年を下回った。

## 【主要会社の状況】

## 1. 近畿日本ツーリスト株式会社

海外団体については、一般団体は前年実施の大型のインセンティブ旅行などの影響で、前年比92.5%と前年を下回った。学生団体は修学旅行や語学研修や国際交流などの取扱い人数が伸びたことにより、同174.7%と前年を大きく上回り、海外団体旅行合計で同100.3%と前年を上回った。

国内団体については、一般団体は前年にあった周年団体参拝や企業系コンベンションの取扱い人数の減少などの影響で、前年比94.1%と下回った。学生団体は修学旅行や校外学習などの取扱い人数の減少により前年比89.2%と前年を下回った。この結果、国内団体旅行合計で前年比90.6%と前年を下回った。

## 2. 近畿日本ツーリスト個人旅行株式会社

メイトは、取扱額で前年比80.5%と前年を下回った。方面別取扱人数の状況では、九州地区は著しく減少したが、北海道、沖縄方面は好調であり、その他の方面は前年を下回った。

ホリデイは、テロ等外的要因が影響し、ヨーロッパ方面は引き続き不調、オセアニアが前年を大きく上回ったが、その他の方面は前年を下回り前年比81.6%と前年を下回った。

## 3. クラブツーリズム株式会社

海外旅行部門は、アジア、南アフリカ、キューバ方面が好調に推移したが、ヨーロッパ等での治安不安の影響が続いており、取扱額で前年比86.6%と前年を下回った。

バス旅行を除く国内旅行部門は、北海道新幹線の開通効果が続いている北海道方面、京都の葵祭や伊勢・南紀方面が好調であったが、熊本地震による西日本・九州方面の落ち込みが大きく、前年比76.2%と前年を下回った。

バス旅行部門は、スキーバスの転落事故の影響から回復できず、前年比80.4%と前年を下回った。

テーマ旅行部門は、海外の「ひとり旅」「あるく」などのシリーズ商品などが好調であったが、熊本地震の影響も受け「登山」や名阪地区の「ひとり旅」などが不調、前年比99.5%と前年から微減となった。